



iScanTM OCT



Operator Included

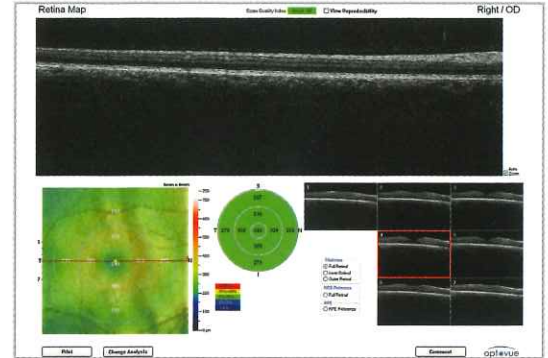
**Powerful clinical tool.
Effortless operation.**

Retina

黄斑部の網膜厚を測定し厚みマップ、ラインスキャン画像を表示します。
Cross Lineに加え3Dスキャンでは黄斑部の立体的な観察が可能です。

Retina Map スキャン

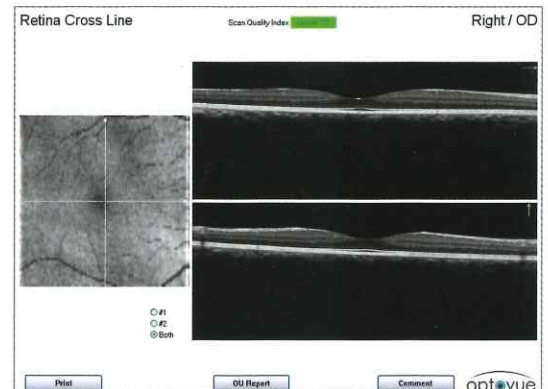
- 黄斑部を中心とした6mm×6mmの範囲をスキャン
- 網膜厚マップを作成し、アンファース画像に重ね合わせて表示
- 中心部の7本の高解像度OCT画像を網膜厚マップとともに表示
- 厚みマップは網膜の全層、外層、内層のいずれかを選択可能
- 網膜全層については有意差マップの表示が可能



Retina Map

Retina Cross Line スキャン

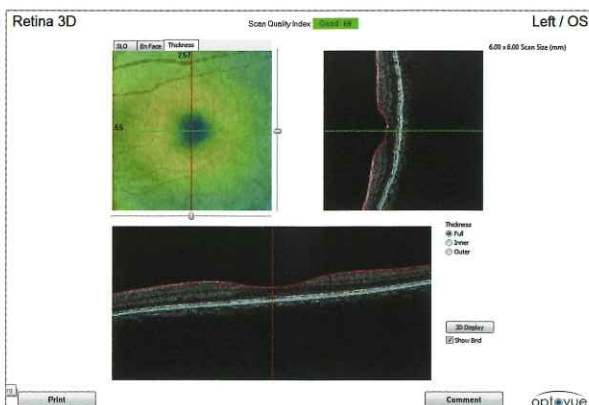
- 長さ6mmの直交する2本のスキャンにより
網膜の任意の場所の高解像度OCT画像を取得、表示
- スキャン角度も任意に認定可能
- 眼底像に画像取得部位を表示するとともに
縦、横それぞれのOCT画像を表示



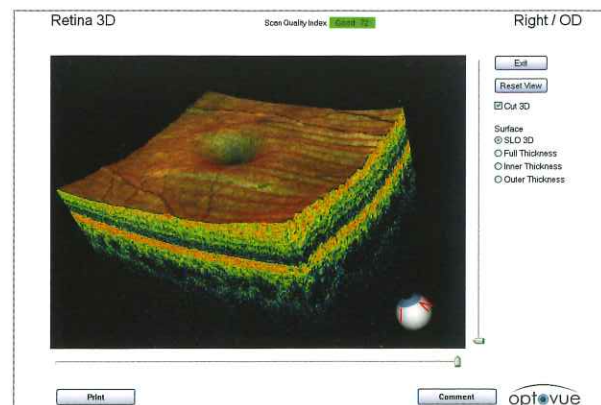
Retina Cross Line

Retina 3D スキャン

- 6mm×6mmの領域に対して128本のスキャンを取得
- 黄斑周囲の任意の場所について水平方向と垂直方向のOCT画像を疑似SLO画像とともに表示



Retina 3D



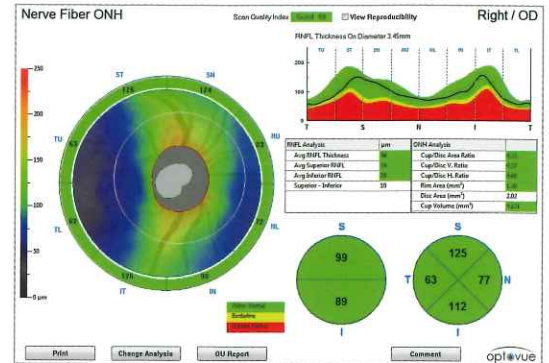
Retina 3D_3D表示

Nerve Fiber

視神経乳頭周辺部のRNFL厚の測定結果と正常眼データベースとの比較結果をグラフィカルに表示します。
また緑内障診断の有力な指標であるGCC (Ganglion Cell Complex) 厚の測定、視神経乳頭部の3次元表示が可能です。

Nerve Fiber ONH スキャン

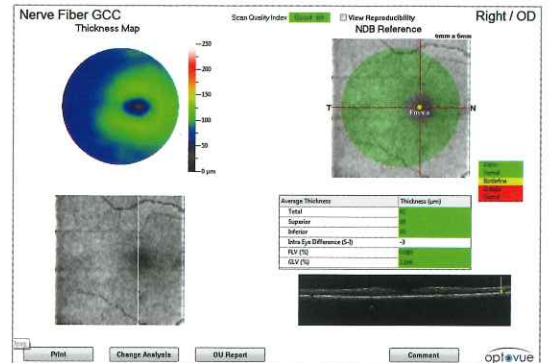
- 13本のリングスキャンによりRNFLの厚みを測定し、12本のラジアルスキャンにより視神経乳頭の形状を把握
- C/D比、乳頭面積、陥凹部の体積等の値を表示
- 測定した厚み値を2分割、4分割、8分割の領域毎の平均値とともに表示
- 視神経乳頭周囲直径3.45mmの円周上のRNFL厚を正常眼データベースと比較しカラーマップで表示するとともにTSNITグラフで表示
- 疑似SLO画像をオーバーレイ表示



Nerve Fiber ONH

Nerve Fiber GCC スキャン

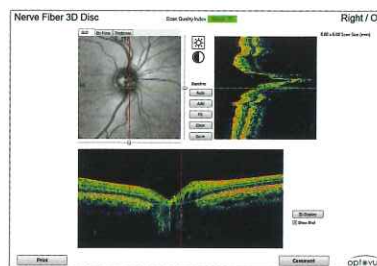
- 垂直方向15本、水平方向1本のスキャンによりGCCの厚みを測定
- 黄斑部の直径6mmの範囲に関する厚みマップと、正常眼データベースとの比較に基づくマップを表示
- GCCの局所的な菲薄化を示す指標FLV(Focal Loss Volume)と全体的な菲薄化を示す指標GLV (Global Loss Volume) をパーセントの値とカラーコードで表示
- 疑似SLO画像をオーバーレイ表示



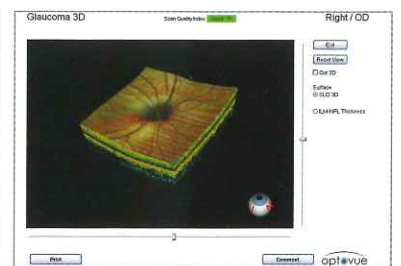
Nerve Fiber GCC

Nerve Fiber 3D スキャン

- 6mm x 6mmの領域に対して128本のスキャンを取得
- 視神経乳頭周囲の任意の選択について水平方向と垂直方向のOCT画像を疑似SLO画像とともに表示
- 疑似SLO画像の代わりにアンファース画像、網膜厚マップの選択が可能
- 3D表示で任意の方向からの観察が可能



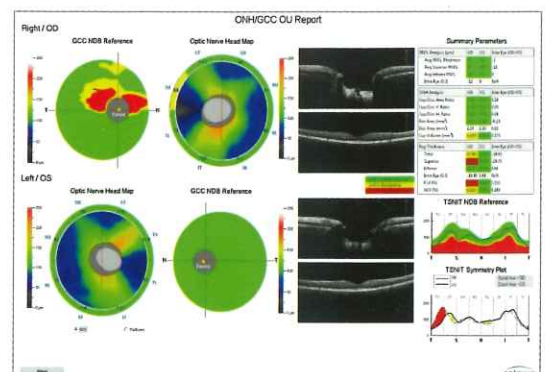
Nerve Fiber 3D Disk



Nerve Fiber 3D Disk_3D表示

変化分析とトレンド解析機能

- ONH、GCC両スキャンパターンを撮影して一画面で表示
- 最大4回の撮影画像を並べて表示
- 年間変化率、変化率の95%信頼区間等をグラフで表示



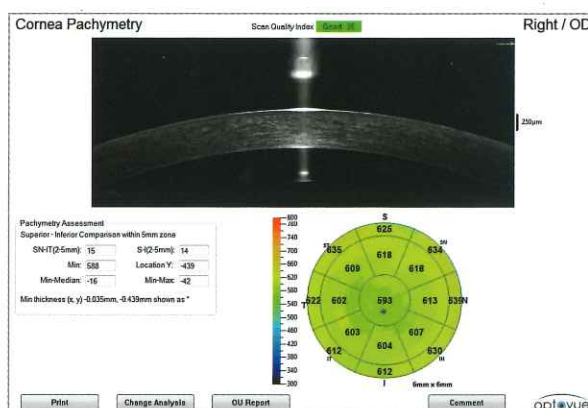
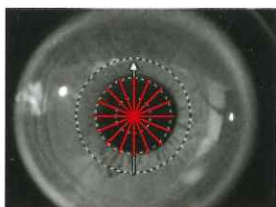
Nerve Fiber ONH / GCC変化分析レポート

Cornea

付属のCAM (Cornea Adapter Module) を取付けることで、角膜厚の測定、評価および隅角の画像取得と角度の測定が可能です。

Cornea Pachymetry スキャン

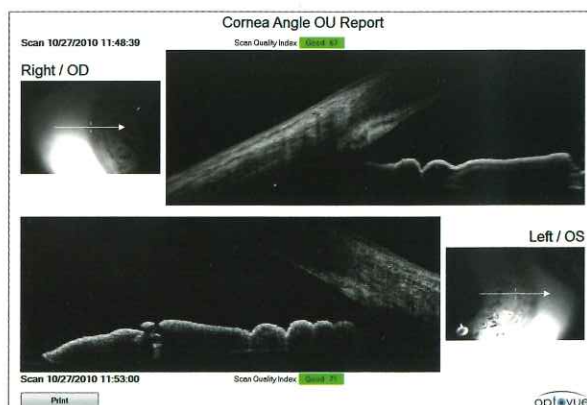
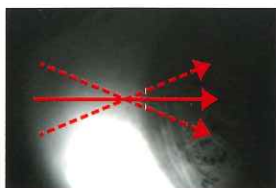
- 長さ6mm、8本のラジアルスキャン
- 直径6mmの角膜厚マップとパキメトリ評価を表示
- 両眼同時表示および変化分析画面の表示が可能



Cornea Pachymetry

Cornea Angle スキャン

- 長さ5mmのラインスキャンにより隅角の高解像度OCT画像を取得、表示
- 角度は0° ~180° の範囲で可変
- スキャンの角度を変えることで涙液メニスカスの観察が可能
- 隅角測定ツールにより隅角の定量的評価が可能
- 画眼測定結果を一画面に並べて表示可能



Cornea Angle 両眼レポート

製品の特長

Optovue社のiScanは従来機iVue-100の構成要素をコンパクトなスタイルにまとめ、音声誘導による高度な自動撮影機能を備えた一体型OCTです。臨床に必要な基本スキャンに加え、効率よくスクリーニングを行うスキャンを搭載しています。

自動撮影 ※1

- 患者情報の入力後、スタートボタンをタップすることで自動撮影を開始、位置合わせ、画像の最適化、次のスキャンへの移行など全自動で行う
- 必要に応じてマニュアル撮影も可能
- 音声ガイドにより、撮影中の固視移動等を誘導し、検者の負担を大幅に軽減



マニュアル操作画面

洗練された操作性

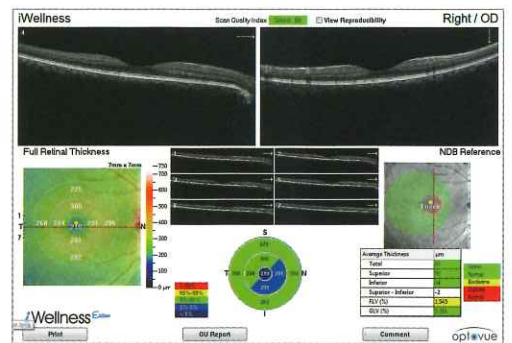
- タッチパネルによる直観的な操作
- アイコンにより簡易操作



各種アイコン

iWellness

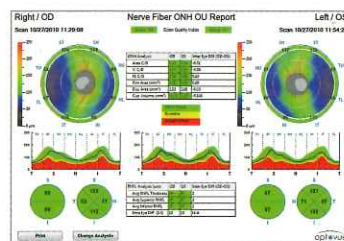
- 一回のスキャンでRetina MapとNerve Fiber GCCを取得
- OCT画像、網膜全層マップ、GCC NDB参照マップ、GCC厚情報を一画面に表示



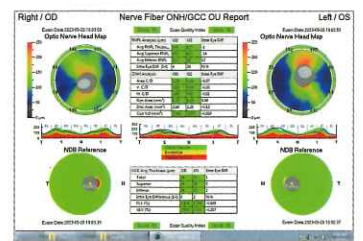
iWellness

同時表示機能

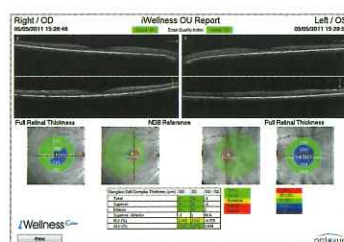
- RNFL厚とGCC厚の結果を同時表示
- 左右眼同時表示
- 変化分析 (2回～最大4回まで)



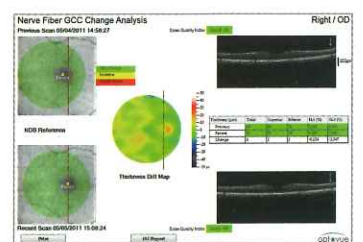
Nerve Fiber ONH 両眼レポート



Nerve Fiber ONH / GCC両眼レポート



iWellness両眼レポート



Nerve Fiber GCC変化分析

Technical Specifications

| | |
|-----------------|------------------------------------|
| OCT画像スキャンレート | 25,000Aスキャン/秒 |
| フレームレート | 1,024Aスキャン/フレーム |
| 解像度(組織内) | 深さ方向: 5 μ m 横方向: 15 μ m |
| 画像サンプリングレート | 横方向: 8 μ m |
| スキャンレンジ(Retina) | 深さ方向: 2mmまたは2.3mm 横方向: 2~12mm |
| 波長 | 830~850nm |
| 動向への露光パワー | 700~750 μ W |
| サイズ | 425(W) x 450(D) x 450(H) mm |
| 重量 | 約20kg |
| 電源、周波数 | AC100V, 50/60Hz |
| 電源入力 | 4.0A |

主なスキャンパターン



※1 Corneaスキャンは自動撮影非対応

